

■ 理由 1：信頼できない企業が一定数存在するから（6 名）

A さん（20 歳 男性）

オンライン面接で仕事内容を詳しく聞いても「とりあえずやってみればわかるよ」と曖昧に流され、不透明さに不安を感じました。長期で関わるには情報が少なすぎました。

B さん（21 歳 女性）

面接担当者が毎回違い、伝える内容も統一されていませんでした。学生相手だからと適当に扱われているように感じ、信頼できませんでした。

C さん（19 歳 女性）

契約条件をメールでお願いしたのに、文面で送られず口頭説明のみで済まされたことがありました。細かい部分の雑さが不安を生んでしまいます。

D さん（22 歳 男性）

口コミで「長期インターン生をすぐ入れ替える文化がある」といったものを見かけ、企業体質への不信感が強くなりました。実態が分からないのは怖いのです。

E さん（20 歳 男性）

面接後の連絡が極端に遅かったり、日程調整がギリギリになったりと、学生とのコミュニケーションを軽視している印象を受けました。

F さん（21 歳 女性）

SNS や求人ページで「裁量が大きい」「圧倒的成長」といった過剰な表現が多く、実態との乖離がありそうで応募を迷いました。誇張したアピールは逆効果だと思います。

■ 理由 2：目的意識を持たずに参加してしまうから（6 名）

G さん（18 歳 男性）

「ガクチカになる」と聞いて勢いで応募しましたが、何を身につけたいか考えていなかったため、途中で業務の意味を見失いました。

H さん（20 歳 女性）

自己分析を深くしないまま参加したため、自分の興味と業務内容にギャップがあり、やる気の波が激しくなりました。目的設定は大事だと痛感しました。

I さん（21 歳 男性）

周りの友人がやっていたので流れて応募しましたが、スキル獲得の意図が曖昧で途中からモチベーションが低下しました。

J さん（19 歳 女性）

「とりあえず経験しておけば就活に役立つだろう」と思って参加しましたが、明確な目標がなかったため、成果を出すための行動ができませんでした。

K さん（22 歳 男性）

ガクチカ目的で始めましたが、何を成果として残したいかを考えていなかったため、活動内容に一貫性が生まれませんでした。

L さん（20 歳 女性）

周囲に影響されて慌てて応募しましたが、目的が曖昧だったため、業務の優先順位をうまく決められず迷い続けました。

■ 理由 3：大手企業や知名度にこだわりすぎるから（6 名）

M さん（21 歳 女性）

知名度のある会社ばかりを優先して応募していましたが、実際にはベンチャーの方が責任ある仕事を任せてもらえるを知り、視野が狭かったと感じました。

N さん（18 歳 男性）

「有名企業じゃないと就活で評価されない」と思い込んでいましたが、長期インターンは内容の深さが大事だと後で気づきました。

O さん（22 歳 女性）

大手志向で選んだ企業では作業的な業務ばかりで、成長実感が薄かったです。企業規模にこだわりすぎていました。

P さん（20 歳 男性）

ベンチャーは不安という理由で避けていましたが、実際には小規模な企業の方が教育が丁寧だったり裁量が大きかったりすることを知り、もったいない選び方をしていたと思います。

Q さん（19 歳 女性）

企業名ばかり見て、中身の業務をしっかり比較していませんでした。結果として、自分が求める経験とズレた環境を選んでしまいました。

R さん（21 歳 男性）

「知名度＝価値」と思っていたのですが、長期インターンでは成果の内容こそが重要で、ブランド志向は失敗だったと感じています。

■ 理由 4：受け身の姿勢で取り組んでしまうから（6 名）

S さん（22 歳 女性）

指示されるのを待つ癖が抜けず、周りのインターン生と比較して成長スピードが遅いと感じました。長期インターンは能動性が求められます。

T さん（20 歳 男性）

分からないことがあっても自分から質問できず、抱え込んでしまいました。受け身だと仕事が進まず、信頼も得にくいと痛感しました。

U さん（18 歳 女性）

「教えてもらえるだろう」という気持ちでスタートした結果、自走力が身につかず、社員さんとの温度差を強く感じてしまいました。

V さん（21 歳 男性）

積極的に提案する文化なのに、自分は様子を見るばかりで動けませんでした。受け身だと成長機会を逃すだけだと実感しました。

W さん（19 歳 女性）

タスクが与えられるのを待ってしまい、結果的に業務量が少なくなり、学べることも限られました。主体性が必要だと感じました。

X さん（22 歳 男性）

最初の一步を踏み出すのが遅く、チームに貢献できるまでに時間がかかりました。能動的に動けばもっと成果が出せたと思います。

■ 理由 5：短期間で辞めてしまうから（6 名）

Y さん（18 歳 女性）

1～2 週間で辞める学生が多く、企業側も毎回教育し直す必要があり、環境的に安定していない印象を受けました。

Z さん（20 歳 男性）

自分も 1 ヶ月ほどで辞めた経験がありますが、企業の負担を考えると非常に申し訳なかったです。短期離脱は双方にとってデメリットが大きいです。

AA さん（22 歳 女性）

「思っていた業務と違う」という理由だけで辞める人が多く、マッチングの重要性を強く感じました。

AB さん（21 歳 男性）

短期間で離脱する学生が続くと、企業側の教育コストが無駄になり、インターン制度そのものへの信頼も下がってしまいます。

AC さん（19 歳 女性）

研修だけ受けて辞めてしまう学生がいると聞き、企業側の育成体制に負担がかかることを実感しました。

AD さん（20 歳 男性）

長期インターンは継続してこそ価値があるのに、すぐ辞める学生が多いことで企業も慎重になり、良い環境が提供されにくくなると思います。

■ その他（3 名）

AE さん（22 歳 男性）

大学の授業やゼミが忙しくなり、どうしても勤務時間を確保できず継続が困難になりました。

AF さん（18 歳 女性）

自宅からオフィスが遠く、移動時間が負担となり続けられませんでした。長期インターンは通いやすさも重要だと感じました。

AG さん（21 歳 男性）

体調面で無理がきかず、勤務ペースについていけないことがありました。継続前提の環境では体力も重要だと感じています。